

いま ビオトープ 管理士として 何ができるのか

in 東京

平成26年度第1回研修会・交流会

平成26年 5月25日(日)

会場○国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室 定員○100名(要事前申込) 参加費○第1部 1,000円(日本ビオトープ管理士会会員および支部会員、(公財)日本生態系協会の会員は事前申込か会員証の提示により500円)、第2部 交流会 3,000円 主催○日本ビオトープ管理士会 後援○(公財)日本生態系協会 協力○日本ビオトープ管理士会関東支部

プログラム

- 13:30 開会
- 13:35 講演1
「ビオトープ管理士として何ができるか」
長谷川 明子 氏 中部支部（ビオトープ・ネットワーク）会長 [1級計画]
大学、専門学校等で生態学、動物行動学、環境教育等を教える傍ら、執筆、講演活動に従事。
人と生きものとの繋ぎ役として開発と保護保全の両立を目指す。
- 14:05 講演2
「行政がビオトープ管理士に期待するもの、
行政としてビオトープ管理士を活かす」
小栗 幸雄 氏 茨城県筑西市役所 土木部 次長 [2級計画/2級施工]
旧建設省時代から国土交通省で河川の業務に携わる。
また当会関東支部の広報担当でもある。
- 14:35 休憩
- 14:45 講演3
「ビオトープ管理士を市民活動に活かす」
岸 しげみ 氏 茅ヶ崎野外自然史博物館 事務局長 [1級計画/1級施工]
自然を展示物にみためた野外博物館をつくり、自然観察会や総合学習を実施。
ネットTV『湘南natureチャンネル』を仲間と企画制作し、自然情報を発信。
- 15:15 講演4
「ビオトープ管理士を仕事に活かす」
藤塚 治義 氏 (株)エコロジーサイエンス 環境調査部長・主任研究員 [1級計画]
1級ビオトープ管理士の1期生として、数々のビオトープ事業の現場に携わってきた現場の
スペシャリスト。当会新潟支部の世話人でもある。
- 15:45 質疑応答
- 16:00 意見交換会
- 16:50 まとめ
- 17:00 ~ 交流会 レセプションホールにて

参加申込書 ①記入の上、FAXまたは郵送でお送りください。 FAX. 03-5951-0246

フリガナ 所属機関
氏名 役職

連絡先 〒
(勤務先・自宅)どちらかを○で囲んでください

日中の連絡先（携帯電話等）

Tel. Fax.

日本ビオトープ管理士会
会員である

質問したいこと

交流会（事前申込制）
お申込なしの参加はできない場合がございます。
予めご了承ください。

参加

急な予定変更などの場合は、お電話でご連絡いたします。個人情報、本研修会・交流会でのみ利用いたします。